

ジュニア部門／デザイン

審査評

今年度は、令和3年度広島県Web公募美術展ジュニア部門として、Webにて作品の募集が行われました。35点という応募点数でしたが、一つ一つの作品に込められた強い思いが伝わってきました。審査に当たっては、伝えたいことをデザイン性豊かに表現している作品を選定しました。

今回は、応募された作品の中から7点の特選を選定いたしました。「猫の都」は、ゆったりとくつろぐ猫の周りに、優しい色使いで細部まで細かく模様が描かれています。猫たちが好きなものに囲まれて気持ちよく過ごしている様子が伝わってきました。「宙海」は青系で統一された中に白を効果的に配置し、光が差し込む様子が幻想的に表現されています。光に向かうほど生き物の形が抽象化する表現方法が印象的です。「雨」では、黒い背景の上にカラフルな雨を立体的に配置することで、様々な雨の音が聞こえてくるような作品に仕上がっています。

「Choice」では、両手を伸ばした先にある球体の中には様々な生き物が、その中心に“Peace of the Earth”という文字が配置され、地球の未来は私たちの手にかかっているという思いが伝わってくる作品になっています。「クラッシュ」では、物が壊れる瞬間を色の混ざっていく感じで表現しています。混色によって生まれる色の変化と原色で残してある色との対比が効果的に表現されています。

「イツ、ワンダフルワールド」では、地球の中から突き出ている手のひらで優しく動物たちを支えている様子や植物に水をあげている様子が表現されています。また、地球の中心にかかっているハートから世界中に優しさが広がってほしいという願いが伝わってきました。「HIROSHIMA」では、お好み焼きのネギやソバ、ソースの照りなどが細かく表現されており、作品からはソースの香りが漂ってきそうです。マヨネーズで原爆ドームを表現し、“HIROSHIMA”から世界に伝えるメッセージも強く伝わってきます。

デザインにおいては、作品で伝えたい思いや願い、夢などを様々な視覚的効果を用いて表現することが求められます。次回のデザインの応募においても、そういった思いが感じられる作品が多数応募されることを期待したいと思います。

(広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 住田 佳子)